



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成20年8月4日

NO.

93

第1回臨時会・第2回（6月）定例会

- 臨時会…………… 2ページ
- 第2回（6月）定例会報告 …… 2～5ページ
- 一般質問（13人登壇）…………… 8～14ページ

私たちは開かれた議会を目指します



第1回 臨時会

平成20年5月13日
臨時会を開催しまし
た。町長の行政報告
並びに議案3件等を
審議しました。

町長行政報告

ごみ処理広域化問題に
ついて、5月7日に横須
賀市及び三浦市を訪問
し、ごみは自区内処理の
原則に基づき徹底的な資
源化・減量化等を進め、
単独処理を実施していく
旨を伝え、2市1町のご
み処理広域化から脱退す
ることとした。

第61回全国植樹祭のサ
テライト会場の1つとし
て葉山町が決定された。

ごみ処理広域化問題に
ついて、5月7日に横須
賀市及び三浦市を訪問
し、ごみは自区内処理の
原則に基づき徹底的な資
源化・減量化等を進め、
単独処理を実施していく
旨を伝え、2市1町のご
み処理広域化から脱退す
ることとした。

第61回全国植樹祭のサ
テライト会場の1つとし
て葉山町が決定された。

こんなことが 決まりました

◎葉山町手数料条例の改 正

戸籍法の改正に伴う地
方公共団体の手数料の標
準に関する政令が改正さ
れたことに伴い、葉山町

手数料条例を改正するも
のです。全会一致で可決
しました。

◎葉山町税条例の改正

地方税法等を改正する
法律が公布され、葉山町
税条例を改正するもので
す。全会一致で可決しま
した。

◎教育委員会委員の任命

現教育委員会委員であ
る高木太郎氏から、5月
15日をもって辞職したい
旨の願いがあり、新たに
補欠委員を選任するた
め、豊田茂紀氏を任命し
たいので、議会の同意を
求めたものです。

守屋巨弘・伊東圭介・
待寺真司議員の反対討論
がありました。賛成9
人で同意しました。

第2回 6月 定例会

こんなことが決まりました

第2回定例会は6月23日から7月3日まで開催しました。一般質問では13人の議員が行政の課題をただしました。町長の政策が反映された補正予算、公共下水道工事協定等議案6件を審議しました。町民からの請願・陳情は各委員会へ付託され、9件を審査しました。

◎平成20年度葉山町一般
会計補正予算(第1号)
全会一致で可決しまし
た。

◎平成20年度葉山町国民
健康保険特別会計補正予
算(第1号)
全会一致で可決しまし
た。

◎平成20年度葉山町下水
道事業特別会計補正予算
(第1号)
全会一致で可決しまし
た。

◎葉山町職員定数条例の
改正
葉山町消防の定数は国
基準の半数しかなく、救
急出動件数の増加等近年
の消防業務の状況や今後
の退職予定者数の推移を
踏まえ、新規採用職員が
消防学校等での教育期間
中消防業務に支障のない
ように改正します。全会
一致で可決しました。

◎葉山町職員の育児休業
等に関する条例の改正
地方公務員の育児休業

等に関する法律の改正に
伴い、再度の育児休業を
取得することができると
情報の追加や復職後の号給
の調整を行います。全会
一致で可決しました。

◎工事委託協定の締結に
ついて
公共下水道葉山浄化セ
ンターに3系列目の処理
施設を増設するに当た
り、日本下水道事業団と
建設工事委託協定を行う
ものです。賛成10人で可
決しました。

◎葉山町公共下水道葉山
処理区木古庭長柄幹線築
造工事(その1)の契約
を行うものです。全会一
致で可決しました。

◎財産の取得について
葉山町消防団第3分団
用ポンプ自動車を買替
えるものです。全会一致
で可決しました。

◎指定管理者の指定につ
いて
10月開設予定の葉山町
子育て支援センターの指
定管理者として特定非営
利活動法人風の子を指定
するものです。全会一致
で可決しました。

◎人権擁護委員の推薦に
ついて
横田昌和氏を再任する
ものです。全会一致で可
決しました。

◎人権擁護委員の推薦に
ついて
本田清法氏を再任する
ものです。全会一致で可
決しました。

※各議員の表決結果は5ページ

平成20年度補正予算

補正予算質疑

●町長、副町長及び教育長の給料を見直すための審議会委員の報酬。

15万円

●老人クラブ等でバスを借り上げる際に町が補助を行う。

58万円

●庁舎の省エネルギー化推進のため、事務室・トイレ等の白熱電球を蛍光球に交換し、消費電力の削減を図る。

19万円

●第三次葉山町総合計画実施計画（平成21～23年度）印刷代。

17万円

●行政評価の本格的導入に伴い、コンサルタント業者に支援業務委託を行う。

210万円

●町と提携する健康増進施設（当面、逗子スイミングスクールと横須賀の「すこやかん」）を利用する65歳以上及び特定保健指導対象者に対し、その利用料の一部を助成し、健康の増進と生活習慣の改善を図る。

245万円

●葉山海岸花火大会実行委員会補助金。

500万円

●葉山ふるさとひろば実施補助金。

117万円

●仙元山ハイキングコースの老朽化したベンチ等の撤去及び設置を行う。

99万円

●昭和53年に建設された一色海岸公衆トイレ改修のための設計等を行う。

100万円

●道路拡幅に向けた実施設計、測量調査、堀内三家橋の架け替え工事及び物件補償を行う。

277.4万円

●（仮称）主馬寮公園整備工事。

143.7万円

●水洗化工事をしようとする者が敷地の都合により自然流下で公共下水道に接続できない場合に、私設汚水ポンプを自費で設置する際に費用の助成を行う。

270万円

問 当初、1億8千万円の政策的な予算を6月補正で計上するとの話が、6100万円になったいきさつは。

町長 内容を精査するたため次回以降に繰り下げた。

問 新たな政策的予算は、総務部長 8項目で、事業の総額は31万2千円。

問 補正予算が昨日突然差し替えになった。自ら律して処分する考えは。

町長 今後はないように努力したい。

問 主馬寮公園の整備は、都市経済部長 土地開発公社から買い戻す3年後に完璧な整備が行える。

問 五ツ合森戸線事業で川幅が広がっていないが大丈夫か。

都市経済部長 調査結果で流量上はクリアできる。

問 一色の公衆トイレは20年度中にできないのか。

都市経済部長 海水浴場

に近いため、夏の期間を外し21年度に完成予定。

問 2カ年継続事業にすれば21年の夏に合ったのでは。

都市経済部長 そういう考えもあるが、今回は単年度と判断した。

問 行政評価支援事業で業者委託が必要なのか。

町長 内容の深い評価制度に変えていくために専門家を入れる。

問 町長や特別職の給与カットに審議会が必要か。

町長 自らのことなどで、数値を示して有識者に妥当性を検討してもらおうほうがいいと考えた。

問 バス借り上げ補助については基準があるのか。

町長 昨年の暮れに廃止になったものを一部復活し、老人クラブや障害者団体の利用を考えている。

問 花火大会補助金をなぜ当初予算に載せなかったのか。

町長 花火の打ち上げ方

式が変わって、いろいろ調査、検討が必要なたため補正予算となった。

問 子育て支援センターの愛称を公募していたが、保健福祉部長 応募が6件と少なかったため再検討し、決定したい。

問 仙元山ハイキングコース休憩ベンチ整備は、すべて元のとおりになる

生活環境部長 逗子市は対象が1件だが、葉山は14件予定しているため、助成制度とした。

のか。

都市経済部長 予算の関係で数が減る。

問 施設汚水ポンプ設置の助成制度で、逗子市は全て公設物として市が負担しているが。

生活環境部長 逗子市は対象が1件だが、葉山は14件予定しているため、助成制度とした。

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一般会計	8,830,000	61,101	8,891,101	
特別会計	国民健康保険	3,316,452	0	3,316,452
	後期高齢者医療	633,679	—	633,679
	老人医療保健	351,199	—	351,199
	介護保険	2,098,387	—	2,098,387
	下水道事業	1,388,075	2,700	1,390,775
	計	7,787,792	2,700	7,790,492
合計	16,617,792	63,801	16,681,593	

意見書を提出しました

- ◎地方自治法第99条の規定により、各意見書は提出先へ送付いたします。
- ◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

教育予算の拡充を求める意見書

児童生徒の実態に応じてきめ細やかな対応を行うため、複数の教員で授業を進める少人数教育が実施され、子どもたちや保護者からも大変有益との評価がある。

しかし、義務教育費国庫負担金の負担割合が2分の1から3分の1に縮小されたこと、地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体独自の教育施策を進めることには限界があり、学校施設整備も含め、教育条件の地域間格差が広がっていると実感している。さらに、就学援助受給者も増大しており、自治体の財政力や保護者の経済力で、子どもたちの受ける「教育水準」に格差を生じさせてはならない。

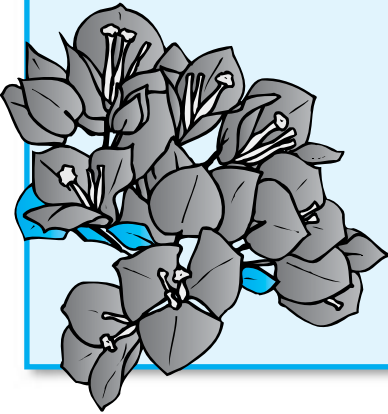
よって政府は、義務教育費国庫負担制度を復元し、制度を堅持すること。また、義務制第8次・高校第7次の教職員定数改善計画を早期に実施すること。超過勤務の実態を踏まえた給与措置と、教職員給与の財源確保・充実をはかること。学校施設・就学援助等の教育予算充実のため、国の予算を拡充することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成20年7月3日

葉山町議会

提出先

衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・総務大臣・
財務大臣・文部科学大臣



逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書

平成16年3月に、湘南国際村から長柄地区間への県道逗葉山横須賀線(三浦半島中央道 以下「同道路」という)の一部が開通して、逗葉新道の通行が有料という状況のままでは、同道路の利用者の多くが町道を通行(いわゆる通り抜け)しているために、地域住民の安全・安心を脅かし、また排気ガスにより同地区の住環境が悪化している。

については、逗葉新道建設費はすでに償却完了して久しく、利用者への還元をも御考慮のうえ、次の措置を講じられるよう求めます。

1. 逗葉新道の通行料を早期に無料とすること。
2. 逗葉新道の交通量の増加に伴い、新たに県道の部分となった道路の歩道及びガードレール・フェンス、カーブミラー等の交通安全施設の一層の整備、充実に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成20年7月3日

葉山町議会

提出先

神奈川県知事・
神奈川県道路公社理事長

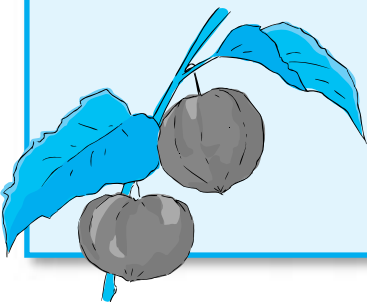


表 決 結 果

	議案・請願・陳情\議員名(議席順)	伊東圭介	鈴木知一	金崎ひさ	土佐洋子	山梨崇仁	阿部勝雄	近藤昇一	畑中由喜子	佐野司郎	加藤清	待寺真司	鈴木道子	伊藤友子	中村常光	森勝美	守屋巨弘	笠原俊一	結 果	
議案	葉山町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	葉山町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	教育委員会委員の任命について	× 討論	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	—	同意
議案	平成20年度葉山町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	平成20年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	平成20年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	葉山町職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	葉山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	工事委託協定の締結について【葉山浄化センター建設工事】	○	○	○ 討論	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	可決
議案	工事請負契約の締結について【葉山処理区木古庭長柄幹線築造工事(その1)】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	財産の取得について【第3分団用消防ポンプ自動車】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	指定管理者の指定について【葉山町子育て支援センター】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	神奈川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	○	○	○ 討論	○ 討論	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	可決
議案	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案	人権擁護委員の推薦について	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	—	可決
議案	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
請願	教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
陳情	「ごみ処理広域化推進」の再検討を求める陳情	○ 討論	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	×	×	×	—	採択
陳情	真名瀬漁港環境整備に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択
陳情	過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	審議 未了
陳情	高齢者の公平な医療受給を求めることに関する陳情	×	×	×	○ 討論	○ 討論	○	○	○	×	×	×	×	○ 討論	×	○	○ 討論	×	—	不採択
陳情	葉山町ごみ問題の議会での経緯及び課題についての議会主催報告会の早急な開催を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択

○は賛成 ×は反対

議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決めます

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

「真名瀬漁港環境整備に関する陳情書」

この陳情は、港・漁村に活気を取り戻すため、真名瀬漁港区域内の環境整備を進め、「安全で快適な漁業活動の対策」と「プレジャーボートの廃止」を求めているものです。

6月13日及び30日に担

当部課長等出席のもと審査を行いました。漁業協同組合が設置した「真名瀬漁港検討委員会」から、安全で快適な漁業活動の具体策が提示されてい

ないので、継続を求める意見も出しましたが、検討委員会の設置経緯及び町の対応についても明らかに。また、具体策については改めて陳情が出た時に審査すればよいことなどから、結論を出すことになりました。

趣旨了承との意見もありましたが、採決の結果、全会一致により採択すべきものと決しました。

所管事項調査

○長者ヶ崎の町有地について

○前副町長の海浜占用問題について

以上2件について調査を進めております。尚、議会最終日の7月3日に

「協同労働の協同組合法の速やかな制定を求める陳情書」が付託され、議会

休会中に審査を行うことになりました。

委員長 待寺真司

教育民生

「葉山浄化センター建設工事委託協定の締結について」

これは、公共下水道浄化センターの水処理施設

第3系列目の機械設備及び電気設備の増設工事を行うものです。機械、電気

の各機器類は相互に密接な関係があり、構成が複雑なため機器の設計・製作から据付・試験・調整まで一連の工事として

行ふ必要があるため2カ年の工事として実施し、協定期間は平成22年3月31日までとなつていま

す。なお、この工事委託は5月20日に日本下水道事業団と6億5千万円で仮協定を締結しているものです。

審査の中で委員からは、町職員には機械、電気等の施設に精通した専門の

技術者がいない中、日本下水道事業団に工事委託するのやむをえないとの意見と事業団に発注し、

全てを任せる状況には反対するとの意見がありました。

審査の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

「葉山町子育て支援センターの指定管理者の指定について」

この議案は、10月から開設を予定している子育て支援センターの指定管理者を指定するために提案されたものです。

指定管理者の選定経緯については、応募団体が「特定非営利活動法人 葉山風の子」の1団体だけ

であり比較対象がないことの難しさはあったが、「指定管理者選考委員会」

で慎重に審議し、決定したとの説明が担当課よりありました。指定期間は、平成20年9月1日から平成25年3月31日までの4

年7カ月です。審査の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

「神奈川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について」

この議案は、高齢者の医療の確保に関する法律

施行令の全部改正及び県内すべての市町村で後期高齢者医療に関する条例が制定され、市町村の事務が明確になったことに

伴い規約を変更するため提案されたものです。審査の中では、広域連合規約の一部変更であり、

本町の条例とも整合性があり賛成するとの意見と後期高齢者医療制度そのものが廃止すべき制度であり賛成できないとの意見がありました。

審査の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

「教育予算の拡充を求める意見書の採択を求め

る請願」 請願の要旨は、子どもたちに豊かな教育を保障するために国に教育予算の確保と充実を求め意見書の提出を求めているものです。

「高齢者の公平な医療受給を求めることに関する陳情」

陳情の要旨は、①後期高齢者制度の廃止を求め

国に意見書の提出②低所得者の保険料負担軽減のため県に広域連合に対する財政支援措置を求め意見書の提出③新たに導入された「後期高齢者診療料」の廃止を求め国に意見書の提出を求めている

ものです。審査の中では、趣旨に賛同できるので国・県に意見書を提出すべきとの意見と、すでに制度の見直しを求める意見書を提

出しているものと決しました。

「教育予算の拡充を求め

る意見書の採択を求め



議会運営

出した経緯もあり、また、制度の廃止と財政支援措置という内容では矛盾があるとの意見がありました。

審査の結果、賛成少数により不採択すべきものと決しました。

所管事項調査

「葉山町国民健康保険料について」

7月から徴収する20年度の国民健康保険料本算定の医療分・支援分・介護分の料率の変更について説明を受けました。

委員長 伊東圭介

4月7日 神奈川県議会自民党県議団による議会基本条例についての視察を受けました。

4月24日 議会基本条例に取り上げるべき骨格項目について検討。

5月13日 臨時議会日程についての協議。

5月23日 議会基本条例に取り上げるべき骨格項目について引き続き検討し、その後、条例案作成のための検討小委員会を設置しました。

6月18日 第2回定例議会の日程および議案、請願、陳情の付託等について協議しました。

6月25日 補正予算案の差し替えの申し出を受け、対応について協議し、その他追加の陳情、要望への対応についても協議しました。

町長から1番議員の一般質問中の発言について議事録削除要求があり、それに対する議長からの

ごみ問題特別

「ごみ処理広域化推進の再検討を求める陳情」

7月2日 今定例会に付託された陳情第20-6号「葉山町ごみ問題の議会での経緯及び課題についての議会主催報告会の早急な開催を求める陳情書」および第20-7号「議会基本条例について、町民との意見交換を求める陳情」について審査しました。

第20-6号は全会一致で不採択、第20-7号は継続審査とすべきものと決しました。

県への逗葉新道無料化を求める要望書への日程対応について協議しました。

前回調査を決めた町長からの議事録削除要求は、1番議員の発言になんら問題はないと判断し、議長から町長に注意を促すということで、全会一致で承認しました。

委員長 佐野司郎

4月17日 町長、担当部課長の出席を求め、慎重な審査をしました。委員からは継続審査を望む意見と、議会意思を示すために採決すべきという意見に分かれました。

継続の意見では、ごみ処理検討資料はもつと精査したものを検討したい。町長の単独処理は、広い意味で広域処理であり、継続して審査すべきである。この資料では資源化・減量化の推進や研究がされていない。これも地球全体の環境問題である。世界的に脱焼却・脱埋立を目指している。

採択の意見では、5月7日までに両市長に面会するまでに議会意思を示すべきである。両市の諸事情もある。離脱したら区内処理に決まるまで広域処理の枠組みは残して

ごみ問題特別委員会を新しく設置しました。

おくべきである。具体的な方策もないまま離脱の結論は出せない。町の利益に反する危険性がある。さまざまなことを考慮すると広域有利であるなど意見が出ました。

継続審査の動議が出ましたが、賛成少数で否決され、採決の結果、賛成多数で採択しました。

5月13日 臨時会にて前記の委員会報告があり、反対討論が近藤昇一、森勝美、守屋巨弘、阿部勝雄各議員より、賛成討論が待寺真司、伊藤友子、鈴木道子、伊東圭介各議員よりありました。賛成9人で採択されました。

6月23日 現在設置のごみ問題特別委員会は、目的がごみ処理広域化の事業開始までとなつています。2市1町ごみ処理広域化協議会は解散され、審査または調査すべき事柄はなくなり、委員会審査は終了することと決まりました。

委員長 鈴木知一

目的は本町におけるごみ問題に関する審査・調査等を行うためのものです。議長を除く全議員16人で編成し、委員長に阿部勝雄、副委員長に伊藤友子の各議員が選出されました。

6月30日 クリーンセンターの委託事業や人件費、施設管理費、最終処分委託費、ごみの種類別に委託している委託費の調査、最少単位の焼却炉建設費用、現焼却炉解体費用、現在の炉の延命策など、行政に現状把握のため早急に調査を求める意見が続出し、県内で2番目に高いごみ処理費用の現状を解消するため議論を始めました。

当面、ごみ処理費用の削減方策や、減量化・資源化の方策など、議会から提案できるよう議論します。

委員長 阿部勝雄



ごみ収集の現場

質問

いっぱん

質問者の提出原稿（11字×50行）を基に編集しています

近藤昇一

中学校完全給食の実施は 教育長 検討委員会の発足も含め研究したい



問 学校給食法では、市町村は義務教育諸学校で、学校給食が実施されるように努めなければならない。同じく学校給食の普及と健全な発達を図るよ

う努めなければならないとされている。神奈川県の実施率は全国で最低クラスだ。葉山町学校給食業務検討委員会報告書は、中学校給食について、「時宜を見て、新たな検討委員会の発足を期待する」と結んでいる。中学校完全給食実施についてどの

教育長 検討委員会の発足も含めて研究したい。
問 具体的な時期は。
教育長 差し控えたい。
問 予算の執行権者として町長は、中学校給食についてはどのように考えるのか伺う。
町長 教育委員会と連携しながら考えたい。
問 平成11年に施行され

た葉山町公文書公開条例は、多くの問題を抱え本来の情報公開制度から程遠いものである。

この条例が提案された際、修正案を提出したが否決された。修正案の内容は時代の要求として生き続けている。情報公開制度の見直しについて、どのように考えるのか。

町長 今年度に研究、分析し、来年度の早い時期に提案するよう準備する。
問 町長がマニフェストとして選挙時に掲げた公約は総合計画実施計画に盛り込まれるのか。



中学校昼食風景

鈴木知一

町長 現実になれば慎重に考える ごみ処理広域化計画の離脱補償の請求は



うのではなく、減量化・脱焼却の方向を打ち出す必要がある、決意した。
問 離脱補償の請求はどのように考えるか。

町長 現在正式に離脱補償の請求が来ているが、私の言っている大型焼却炉でごみをどんどん燃やし続けることが嫌だと、それが最大の争点とな

って、大きな問題となつてくと思う。蒲谷市長がどう請求してくるか、現実になれば裁判になろうとも、慎重に考えたい。

に森勝美議員の辞職のこ

問 議会の意志として、ごみ処理広域化の再検討を示していた。町長が自分の判断で離脱を決定してしまつたと考えるが、

町長 議会の意志として、ごみ処理広域化の再検討を示していた。町長が自分の判断で離脱を決定してしまつたと考えるが、

問 町長は町のホームページ上に離脱の理由を述べているが、横須賀市民、三浦市民に対し理解が得られる内容ではないの

で、訂正を願いたい。
町長 減量化・脱焼却の方向を強く打ち出す必要があり、ご理解いただければと考えている。

町長 わが家では20年前から、生ごみはごみステーションに出していません。きつと理解は得られると思う。森勝美議員とはそれぞれの人格があり、別々のことと考えている。



作業に没頭する子どもたち

山梨崇仁
町長 地域ごとの課題解決に対応したい
放課後子どもプランで学童保育の充実を



問 子供が増えている。放課後の学校を利用して、子供の居場所や地域交流の場を設けては。
教育長 教職員への負担が大きい。児童館を中心にプランを進めたい。

問 葉山町に学校裏サイトやネットいじめの実例はあるか。NTTドコモなど、民間企業が無料で

問 児童館は満員状態。子供の安全確保と両親の安心のために、学校も柔軟に対応するべきでは。

町長 学童保育等は、非常に重要なテーマ。地域の児童館ごと、課題解決に早急に対応したい。

講師を派遣する制度もあるが、ネット利用などの情報モラル教育は。

教育長 実例をつかんでいない。情報教育は教育委員会や情報教育研究会などで検討している。

問 海のスポーツに対する

土佐洋子
町長 防災広場を有効利用できないか
緊急時に即応できるように有効活用を図る



問 天然記念物として芝崎ナチュラルリザーブについての対応は。

町長 芝崎に生息する多様な生物と自然環境を保全するよう、啓発に努めている。

問 磯遊び、磯観察の方へのきちんとしたルール

作りが必要ではないか。
教育長 利用者の良識に訴えながら進めている状況。評価や見解の違いが出るかもしれないが、今後保全と活用を柱に取り組んでいく。

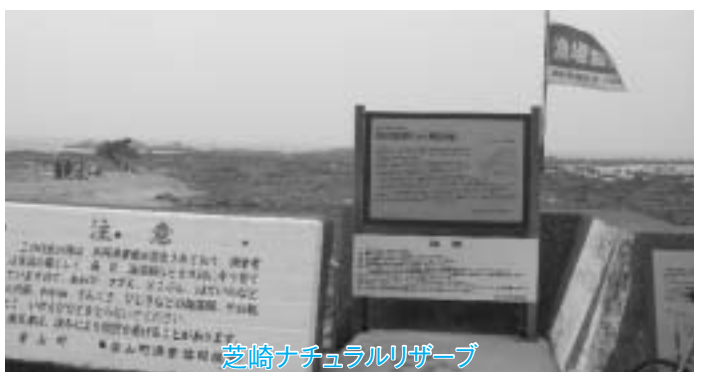
問 防災広場を災害時の拠点として防災公園のよ

れ、自転車の新しい通行ルールが適用され自転車講習会等必要と考える。
町長 積極的に啓発活動を展開し、自転車事故の防止を目指す。

る教育長の認識は。
教育長 ヨット関連事業など、今後とも海のスポーツ振興に努めたい。

にに応じてメンバーを他に活用したい。また、その提言や議事録、政策反映をホームページで公開し、位置付けについては条例化を検討する。

問 すでに新規メンバーが集い、町民会議と町長の認識がずれているが。
町長 これから部会長会談を開いて伺いたい。



芝崎ナチュラルリザーブ

な整備ができないか。

町長 緊急時の対応を念頭に置きつつ、災害発生時に避難、仮設住宅、救

問 道路交通法が改正さ

都市経済部長 何もない広場であることが大事という認識だが、いろいろと検討していく。

町長 ささまざまな団体と連携して、交通安全運動、交通事故防止運動、防犯対策に取り組む。

鈴木道子
町長 政策にとり入れていく
世代間交流で、脳の健康教室開催を



る経費を分かりやすく町民に周知徹底すべきだ。

保健福祉部長 要望を聞きながら変更もしていく。

生活環境部長 分かりやすい内容のものを作成しHP等で公表していく。

問 小・中学校で読書運動が実施されているが、誕生記念に贈るブックファーストに続き小学校入学時に贈るセカンドブック制度を実施する自治体もある。実施すべきだが、

問 小・中学校で読書運動が実施されているが、誕生記念に贈るブックファーストに続き小学校入学時に贈るセカンドブック

問 ごみについて、清掃費は合計でいくらか。生活環境部長 清掃費合計は12億5千万円、一般会計の13・3%の割合だ。

問 まず基本は、清掃費の内訳など、ごみに関する利用者の要望への対処は

問 子育て支援センター

な政策にも取り入れていきたい。

問 有能な職員を採用するため採用年齢の拡大をすべきと考えるがどうか。

総務部長 必要に応じて年齢制限の拡大は可能だ。

問 防災行政無線も古い。災害時に的確に対応できるように更新をすべきだ。

消防長 検討していく。

町長 かつては、葉山御用邸用水として利用された歴史的意義のある場所であり、当町にとっても貴重な場所だ。今後活用の方策を具体的に作った上で宮内庁と折衝する。

問 高齢者福祉目的の葉山町生きがい事業団だが、事務局長職が退職した町職員の天下り先になっている。また、補助金を上回る事務管理費の不足分を、会員の事業収入から

伊藤友子
町長 「水源地の水」、ぜひ有効活用を
町長 具体策を持って宮内庁と折衝したい



町長 かつては、葉山御用邸用水として利用された歴史的意義のある場所であり、当町にとっても貴重な場所だ。今後活用の方策を具体的に作った上で宮内庁と折衝する。

町長 事業団の性格を考慮した事務経費及び給料等を見直したい。会員の生の声を生かせるよう私もミーティング等へ参加

し、理想的な生きがい事業団になるよう情熱を傾けた。なお、改善策は、半年ぐらいで問題点を明らかにし、提示できる。

問 真名瀬漁港再整備事業は、整備を進めて4年

目になる。先日、委員会の調査で船から海底の様子を見て水中にヘドロはないと確認した。遊歩道を望む人もいる。今後は。

町長 平成20年度の学術講演会で、沖防波堤の効果調査が専門家より評価された。今後は、漁港関係者の意見・希望を入れ、行政も関心ある町民も納得する案で、県・国と事業継続の交渉をする。



脳の健康ゲーム



水源地

守屋 亘弘

町長の公約の履行について
町長 現在折衝中



問 町長は先の町長選での公約で、前町長・前副町長に対してそれぞれの退職金の返還を要求する」と明言した。その履行について。

町長 自分のマニフェストも、例えば一部の金品を

トに掲げたが、両者への退職金は神奈川県市町村職員退職手当組合条例第17条の3の規定に基づき、禁固以上の刑を受けていない者には支給されるので、法的にそれを返還させることはできない。しかし町民感情というものを考慮し、退職金返還ということは事実上無理で

町に寄付していただくという形でできないものかと、現在ある人を通して折衝をしている。

問 ごみ資源化の取り組みの中で、本町は過去5カ年で約1万トンの有価物を処理したが、そのた

めに1億1千万円を支出した。有価物1トン処理のために1万1千円のお金をつけたということだ。

逗子市では約1万1千トン処理したが3120万円の利益を得た。

アルミ缶売却の場合、本町ではトン当たり4万円だったが、逗子市ではトン当たり15万円で売却した。クリーンセンター

でのごみ処理事業は殆ど業務委託契約で処理されているが、これらの見直しは。

生活環境部長 平成18年度までは古紙類等逆有償だったが、19年度以降適宜見直しを行なってきた。今後各業務内容を把握の上、改善するよう努力したい。

森 勝美

大災害時には自主防災組織が有効と思うが
消防長 リーダー育成は県消防学校で研修に参加



護服、検査機器整備、ヨウ素剤の備蓄をしている。

問 芝崎防波堤のコンクリートひび割れの町内会からの要望が平成17年に

出されていると思うが、

問 小・中学校でのごみ問題の学習は。

教育長 副読本「葉山」で4年生から実施中。

生活環境部長 管理形態について業者と話を進めている。

問 火災警報器を一人暮らし高齢者宅に普及を。

町長 どれくらい予算で、できるか考えたい。

問 学校教育での食育に栄養教諭2人で対応しき

れるか。

教育長 授業ができるのは教員免許を持つ者であり、制約はあると思う。

問 中学校でのごみ問題の学習は。

教育長 副読本「葉山」で4年生から実施中。

問 中学校でのデイベイト授業の方策は。

教育長 文部科学省が国語で展開するよう示し、教育総合プランにもある。



クリーンセンター内のアルミ缶プレス山の

問 横須賀米軍基地に配備予定の原子力空母ジョージワシントン艦内での火災発生は安全性に不安がある。原子炉事故発生の場合、当町の対応は。

町長 放射性物質による災害発生時の活動基準の策定、放射性物質対応防

策定、放射性物質対応防

消防長 自主防災組織のリーダーの育成のため、県消防学校での研修を予

定。

問 芝崎防波堤のコンクリートひび割れの町内会からの要望が平成17年に

生活環境部長 管理形態について業者と話を進めている。

問 火災警報器を一人暮らし高齢者宅に普及を。

町長 どれくらい予算で、できるか考えたい。

問 学校教育での食育に栄養教諭2人で対応しき



県消防学校の訓練風景



どうなる真名瀬漁港再整備

伊東圭介

今後のごみ処理について伺う
町長 ゼロ・ウェイスト政策を実施する



問 今後のごみ処理について伺う。

町長 徹底的な資源化・減量化を進め焼却・埋め立てに回すごみをなくすゼロ・ウェイスト政策を実施する。単独で処理施設を建設、維持管理することは困難な状況である。

問 2市1町の協議会からの離脱・解散による横須賀市・三浦市からの補償請求や町民からの住民監査請求が考えられるが。

町長 現段階においては仮定の話であり、今後対応を考えたい。

町長 真名瀬漁港検討委員会や地元住民の意見や提案等を参考に検討する。

問 町顧問弁護士を選任について伺う。

町長 前任の小林弁護士が3月末で退任したため新たに呉東正彦氏と顧問契約を締結した。

町長 前回の小林弁護士が3月末で退任したため新たに呉東正彦氏と顧問契約を締結した。

問 17年1月の町長選挙後、森英二氏が名誉毀損で訴訟を起こされた時の弁護士が呉東弁護士ではないのか。

町長 答弁を差し控える。

問 事実として和解金100万円を支払っているのではないのか。

町長 ノーコメント。

問 消防相互応援協定に

町長 事前協議中であり検討段階である。

問 小児医療費助成の県補助が増え、町の拡充は。



阿部勝雄

小児医療費助成制度の拡充は
町長 10月に所得制限撤廃、来年度予算で年齢引き上げをする

町長 本年10月から所得制限を無くし、来年度予算で対象年齢を引上げる。

問 どこまで引上げるか。

町長 少なくとも3年生、できれば4年、6年まで。

問 特定健診の受診率24

問 年度目標は65%。今の一般健診の受診率は。

保健福祉部長 19年度は一般健診対象者の2割。

問 引き上げる手だては。

保健福祉部長 対象者全員に、健診受診券を送る。

問 下水道計画変更を、審議会に諮問する考えは。

町長 早い時期に諮問し、有識者や町民の意見を伺い、全体計画を見直す。

問 ゼロ・ウェイストは、具体性が見えない。ごみ

生活環境部長 組成分析は重要。今年度中に、職員で行う。

問 焼却施設を造らず、ごみゼロまでの間、民間委託。「自区内処理」に矛盾する。減量し、最小限の焼却炉を造り処理するのが現実的・効率的では。

生活環境部長 単独では補助金、交付金等が出ない。暫定措置で、区域外で焼却処理してもらおう。

問 習熟度別授業は。

教育長 いろんな可能性を研究・検討したい。

問 小学校の2学期制は。

教育長 小学校の2学期制は、町のいずれの小学校から導入希望はない。小学生の生活リズムや学習サイクルから、総合的に、短いスパンで区切る3学期制が望ましいと判断し、私から2学期制を働きかける立場にない。



葉山保育園



今年の海水浴場風景

畑中由喜子

海岸保全のため条例制定を

町長 来夏に間に合うよう条例化する



問 海岸は町民全体の財産であることを考えれば、県にお任せするのではなく、町はみずから環境保全に取り組みべきである。

町長 逗子市でも条例とそれに伴う海辺での営業

等を含めたルールもあわせて成立した。それらを踏まえ葉山も来夏に絶対間に合うよう関係者、近隣住民も含めた協議会を設け条例化を考えている。

問 海水浴場開設に1800万円余をかけている。経済効果と事業評価は。

都市経済部長 夏の期間に約12万3千人が訪れ葉山でそれなりの消費をす

るのが経済効果と考える。

町長 事業評価は必要な改善はして、実質的な内容のものにしていきたい。

問 米海軍横須賀基地は当町の中心からわずか7キロの距離で、放射能事故が起これば甚大な被害

問 2市1町ごみ処理広域化から脱退後、両市長と会い、理解を求めたか。

町長 まだ会っていない。

問 両市が本町に損害賠償請求をするとの報道だが、議会意思を無視しての離脱だ。町長の対応は。

町長 架空の話と思う。



金崎ひさ

広域離脱による損害賠償請求は 町長 架空の話と思う

問 5月30日にはなかったゼロ・ウェイストの方針が、6月16日には出ている。どういう経緯で検討したのか。

町長 大きな目標をつくる必要性を感じ、スピードをもつてまとめた。

問 任期中に50%削減するという町長の答弁だが、大丈夫なのか。

生活環境部長 これから検討させていただきたい。

問 焼却炉はかつての答

うので対応を図りたい。

問 震災等の大災害に備え、プライバシー云々でなく生命と財産を守るため地滑りや断層などのハザードマップが必要では。

町長 生命・財産を守る、安心・安全のまちづくりは、絶対に必要なものでぜひ取り組んでいきたい。

その他の質問 ごみ問題

得ているが、将来の活用方針を示すべきだ。

町長 良い提案だ。

問 私有地の里山保全にも補助が必要と思うが。

町長 検討をする。

問 真名瀬漁港再整備計画の進捗状況は。

町長 漁業協働組合内での検討委員会にお願いをしている。ステップを踏みながら、国・県と慎重に対応していきたい。



里山の保全を



災害時には避難所になる体育館

待 寺 真 司

葉山町防災情報メールの更なる活用を
 町長 多くの方々に利用されるよう検討する



問 防災情報メールの利用状況と今後の活用は。

町長 1870人が登録している。今後は防災行政無線の補完だけでなく、災害時に利用できるように色々と検討していく。

問 メールが届くまでの迅速化を図る必要がある。

問 防災と防犯の情報を一元化して、本庁舎内に

消防長 現在消防本部で通信員1人が、防災行政無線・ビーチFM割り込み・町ホームページ・消防テレフォンサービスの

町長 理想ではあるが、それに伴う費用や人件費など慎重に考える。

問 学校での防犯メールに、この防災情報メールを組み込んでどうか。

問 学校施設の耐震化を促進するため、国庫補助率を引き上げると発表された。前倒しして耐震化を行う必要性があるが。

教育長 趣旨が異なるので現在考えていない。

教育長 国庫補助率の引き上げが3カ年の時限措置であるから、充分財政当局とも相談し、早めに

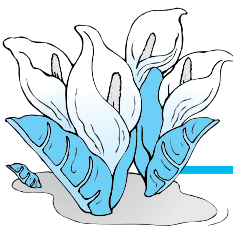
問 町内に散在する官有地の有効活用を検討する、各課横断での推進チームを立ち上げて欲しいが。

町長 非常に有効だと思うので私からも発信する。

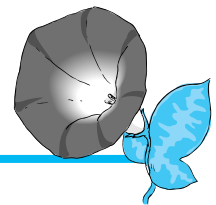
問 町長マニフェストをしっかりと検証し、わかり易く公表するべきだ。

町長 進捗状況や行政の問題点を、何らかの形で公開をしていきたい。

町長 進捗状況や行政の問題点を、何らかの形で公開をしていきたい。



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



- ◎教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願 採 択
- ◎「ごみ処理広域化推進」の再検討を求める陳情 採 択
- ◎真名瀬漁港環境整備に関する陳情書 採 択
- ◎過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書 審議未了
- ◎高齢者の公平な医療受給を求めることに関する陳情 不 採 択
- ◎葉山町ごみ問題の議会での経緯及び課題についての議会主催報告会の早急な開催を求める陳情書 不 採 択
- 〈要望〉
- ◎県道森戸海岸線における都市計画決定についての要望書 机上配布
- ◎『バス貸し出し』についての要望 机上配布
- ◎景観計画2008（案）の見直しに関する要望書 机上配布

◆◆◆ なお継続して審査します ◆◆◆

- ◎「議会基本条例」について町民との意見交換を求める陳情 継続審査
- ◎「〈協同労働の協同組合法〉の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情 継続審査

地域活動を訪ねて②

今回は町内の子育て支援グループをお訪ねしました。

希望の「未来っ子」が元気に、のびのび育つよう工夫をこらしたプログラムで活動していらっしゃいます。

たくさんの人の参加が葉山の未来を築きます。

おちやとらの会

食物は体の栄養・本は心の栄養。おちやとらの会では未就学児と保護者の方向けに、おやつ作りや絵本の読み聞かせ等参加型の楽しい会を提供しています。

代表者 新井 華子
☎ 876-3284



葉はみんぐ



葉山町子育てサポーター養成講座修了生のグループです。子育てガイドブック「葉みんぐ」と同じイラストのついた黄色いエプロンを着て、町主催事業(講演会等)をはじめ、毎月1日から7日の午前中、町役場のキッズコーナーで託児ボランティア活動をしています。

代表者 野北 康子
☎ 876-2189

葉山つ子すくすくパラダイス

「葉山を子育て子育ての思いから、地域ぐるみの子育て支援の機会づくりをしています。保育サポーター養成講座、一時保育を行うファミリーサポート事業、親子のつどいのイベント「すく。パラ広場」などを運営しています。

代表者 上野 祐子
☎ 877-5320



まなびやこ舎KOCO

葉山町放課後子ども教室の受け皿になるべく活動しています。

スポーツ・体験活動発展学習のプログラムを地域のみなさんのご協力を得ながら週末に行っています。対象は年長児から中学生までです。

代表者 長塚 諭
☎ 876-3036



おはなし畑

児童館で、毎月乳幼児向けや小学生向けのお話を聞くほか、夏休み前に小中学生用の読書リストを作成し、各小中学校に配布。年1回、お話会に関する講演会を主催。本が子ども達の人生を豊かで実り多いものにしていくことを願って活動を続けています。

代表者 内田 りえ子



傍聴記

久しぶりの二度目の傍聴ですが（始めや途中の）中絶の意味が解りません。議会で討議出来ないのですか？長時間に思いますが、必要性が解りません。質問者別になさっておられますが、重複したり時間の無駄に思えます。各事項別に進めたら有効に進行出来るのではと素人目に写ります。又聴く側から傍聴席から議員の方が見えない。鏡等の方法は？（ゴミ）ゼロウェイスト運動の2012年迄に50%と言われますが何をどのように減らすのですか？具体的に品名や削減方法を計画的に可能な事を提示して欲しい。

6月25日
長柄 富塚好美恵



笠原俊一議長が神奈川県川島町村議会議長会会長に本年6月9日付で就任しました。任期は1年間です。

議会活動日誌

今回は、第1回定例会終了以降、第2回定例会終了までの活動報告をいたします。

21日	議会運営委員会	23日	議会運営委員会
24日	広報特別委員会	4日	長崎県新五島町議会議員来庁
25日	広報特別委員会	13日	総務建設常任委員会
28日	広報特別委員会	16日	議員全員協議会
31日	総務建設常任委員会	18日	議会運営委員会
3日	広報特別委員会	23日	26日
7日	神奈川県議会自由民主党県議団来庁	24日	広報特別委員会
8日	広報特別委員会	26日	議会運営委員会
17日	ごみ問題特別委員会	27日	教育民生常任委員会
22日	総務建設常任委員会	30日	ごみ問題特別委員会
24日	議会運営委員会	7月	総務建設常任委員会
5月	議会運営委員会	2日	議会運営委員会
13日	第1回臨時会	3日	本会議（定例会）
15日	ごみ問題特別委員会	総務建設常任委員会	教育民生常任委員会
15日	総務建設常任委員会	議会運営委員会	



インターネットの検索能力はすごい。地球温暖化の二酸化炭素の影響について検索してみた。おもしろい記事があったので紹介したい。

記事によると、二酸化炭素の増加では地球は温暖化しない。温室効果ガスの内、水蒸気が80%

町長行政報告

（1千万円以上
5千万円未満の契約）

- ①子育て支援センター耐震改修工事 4357万5千円
- ②葉山しおさい公園池改修工事 1522万5千円
- ③し尿処理施設維持整備工事 3832万5千円
- ④No.1、4号炉階段スト1カ前板・ベース取替 2357万2千円
- ⑤No.1・2主煙道屋内部耐火物補修 1695万7千円

90%を占めていて、割合的には問題が大変に少ないそうだ。過去の記録では、地球の温暖化については気温上昇が先で、海水等から溶け出し、二酸化炭素の濃度が増加する報告もあるという。

洞爺湖サミットのG8は、2050年までに世界全体の排出量の少なくとも50%削減を達成する目標を掲げたが、なかなか、本当に二酸化炭素だけを削減すれば解決するのか疑問が湧き出てきた。それよりも汚染が原因の環境問題や、食糧危機、経済格差による貧困など地球規模の問題はどう解決していくのだろうか。7月22日記 鈴木知一

表紙説明

8月8日から開催の北京オリンピック、セーリング競技RS:X級女子の日本代表である小菅寧子選手。葉山町堀内在住。

写真提供
（財）日本セーリング連盟・浅野英武氏



平成20年
第3回定例会は
9月24日(水)からの
予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

議長 笠原 俊一
議会広報特別委員会

- 畑中由喜子 近藤 昇一
- 伊東 圭介 鈴木 知一
- 金崎 ひさ 山梨 崇仁
- 鈴木 道子 森 勝美